

# やすらぎ通信

第 50 号 (平成 27 年 1 月 1 日) 発行 : 大阪府立急性期・総合医療センター

## 睦月(むつき)

### お正月

作詞 東くめ 作曲 滝廉太郎

もういくつねると お正月  
お正月には 凧(たこ)あげて  
こまをまわして 遊びましょう  
はやくこいこい お正月

もういくつねると お正月  
お正月には まりついて  
おいばねついて 遊びましょう  
はやくこいこい お正月



喫茶室

皆様、あけましておめでとうございます。本年も大阪府立急性期・総合医療センターを、そしてまたこのやすらぎ通信をよろしくお願ひいたします。

さて、今月はお正月です。このコーナーでもいろいろな年中行事を折々に話題にしていますが、一年間で一番年中行事が多いのは元旦を中心としたこの時期ではないでしょうか。お正月準備の12月のすす払いに始まり、大みそか、元旦、三が日、松の内と進み小正月（15日）まで餅つきや注連飾り（しめかざり）をしたりお節料理を作ったり初参りに出かけたり七草粥を食べたりどんど焼きをしたりの大忙しです。このようにしきたりや行事が多いのはやはり年が改まるという特別の節目であるからでしょう。昔から元旦には「年神様（としがみさま）」というご先祖様であり農耕神でもある神様を各家庭で丁寧にお迎えして、たくさんの幸を頂けるよう様々な行事や風習が生まれたようです。今ではそれらの持つ本来の意味が希薄化し人間が楽しむためのイベントという側面が強くなってしまいました。ただ、それでもそれらの行事が続いているということが大切なことであり、時々こうやって由来などを聞いて納得したり改めて思い起こして襟を正したりすることによりこの国に流れる歴史や伝統に親しむ機会となればその意義は十分あると言えそうです。

もう一つお正月の話で、昔は年が明けると歳を一つとると言ったものでした。いわゆる数え歳ですが、「正」の字には「正しくする、改める」などの意味から「たましいが若返り、新しくなる」1年のはじめの月の意味があるそうで、昭和20年代初めの頃まで皆さん一斉に元旦に一つ歳をとる形になっていました。いわば元旦は家族みんなが無事年を越して神様から新しい歳を頂いたことをお祝いする日でもあったわけです。生まれてきた時を0歳としてそれぞれ個々に異なる誕生日が来ると一つ歳をとり、その人が何年間生きてきたかを表す満年齢に対して、その前の年のいつに生まれたかは関係なく元旦に皆一つ括りに歳をとる数え歳は、新しく来た年がその人にとって何年目を生きることになるのかを表すようで、命に対し個人と集団あるいは主観的か客観的かの捉え方の差が含まれているようで面白い感じがします。

ところで年が明け松の内が終わってすぐの1月17日に当センターは60周年を迎えることとなります。もともとの起こりは明治からですが、昭和30年1月に大阪府の条例により「大阪府立病院」として開院し、幾多の変遷を経て現在の大阪府立急性期・総合医療センターとなっています。先程の話しに戻しますと満年齢で60歳、数えで61歳となりまさに人で言えば還暦を迎えたこととなります。新しい年を迎え、はたまた再び生まれた時に還るとも言われる還暦を迎え、当センターも初心に還り府域の医療水準の一層の向上のため地域の皆様とともに今後も歩んで参りたいと考えております。どうか引き続きのご支援をよろしくお願ひいたします。

いよいよ寒さが1年中で一番厳しい時期になってきました。今月の節気には小寒（1月5日）と大寒（1月20日）があり、小寒から立春（2月4日）までが寒の内です。大寒はその真ん中にあたります。皆様、暖かくしてお過ごしください。

## NEWS

### 【(新) ～地域の医療機関の皆様へ～乳がん術後連携パスについて】

日頃より急性期・総合医療センターの乳癌診療をご支援いただきありがとうございます。ごさいます。

乳腺外科で推進しております乳癌術後連携パスを紹介させていただきます。

手術、術前後化学療法、放射線療法を終了された患者さんを対象に、引きつづくホルモン薬投与・定期診察、を情報・スケジュールの共有のもと地域の医療機関が協力して行うための指針です。

術後3年以内は3～6か月ごと、4～5年は6～12か月ごと、5年以後は12か月ごとの診察（問診、視触診）、6か月ごとの血液検査（検血、生化学、腫瘍マーカー（CA15-3, CEA, NCC-ST439））とUS、1年ごとのMMG撮影という内容です。

これは日本乳癌学会編 乳癌診療ガイドラインの内容に準拠したものとなっております。問診、視触診で再発の15%が発見され、1年ごとのMMGにより治療可能局所再発の50%と同側・対側の2次癌の66%が発見されるというevidence、および腫瘍マーカー（CA15-3）の上昇が再発症状発現の平均5～6か月前に見られるとのevidenceにもとづいています。

この乳癌術後連携パスは大阪府下を対象に2010年（平成22年）発足のOABN（Osaka Area Breast Network）の乳がん診療連携パスを基本としております。

長期化する術後ホルモン療法、その後にひきつづくフォロー、また5年～10年におよぶ再発後治療を行ってゆくには地域の先生方のご支援が不可欠の時代となってきております。



何卒ご支援をよろしくお願い申し上げます。

また、急性期・総合医療センター「がん診療における地域連携パス登録医（乳癌）」への登録のご検討を重ねてお願い申し上げます。

乳腺外科主任部長 青野 豊一



### 【～地域の医療機関の皆様へ～IVRセンター開設のお知らせ】

“IVR”とは、聞き慣れない言葉だと思います。Interventional Radiology、直訳しますと放射線による介入手技ということになりますが、レントゲンを見ながらいろいろな処置をするということです。主に血管内の「カテーテル治療」を行いますが、その他にも様々な治療・処置を行います。当施設では、心臓・下肢動脈は心臓血管センター、胸腹部大動脈は低侵襲性心血管治療センター、脳・頸動脈領域は脳卒中センターが担当しており、IVRセンターでは、それ以外の全身を対象とすることになります。

まず、血管内カテーテル治療として、肝細胞癌(HCC)に対する抗癌剤を用いた動注化学塞栓療法(TACE)を行っています。これまでリピオドールを用いた conventional TACEを行ってきましたが、本年4月からは薬剤溶出性ビーズ(DEB; Drug Eluting Bead)を導入し、より患者様に負担の少ない治療法としてDEB-TACEを施行しています。

頭頸部腫瘍に対しては、耳鼻科・口腔外科と連携し、抗癌剤動注療法を行っています。

緊急性を必要とする様々な症例にも対応しています。消化管出血として多いのは憩室出血で、内視鏡医と連携して治療を行っています。肝硬変の患者様で多いのは静脈瘤破裂ですが、食道と比べて胃の静脈瘤は内視鏡での治療が難しく、カテーテルによる治療(BRTO, PTO など)を行います。インターフェロン導入など、血小板が低い場合には、部分的脾動脈塞栓術(PSE)を行います。

呼吸器内科との連携では、咯血の症例に対し、気管支動脈塞栓術(BAE)を行います。

産婦人科との連携では、子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術(UAE)を行っています。子宮腺筋症の患者様にも、適応を拡大して行うこともあります。

泌尿器科との連携では、多発性嚢胞腎の症例に対して、腎動脈の塞栓術を施行します。腹部膨満感、高血圧などに良好な効果を得ることができます。

その他、血管奇形(AVM/AVF)、内臓動脈瘤、術後出血に対する塞栓などにも対応しています。また、カテーテル治療以外には、膿瘍のドレナージや深部腫瘍の生検(CT下、コーンビームCT下、エコー下)なども行います。

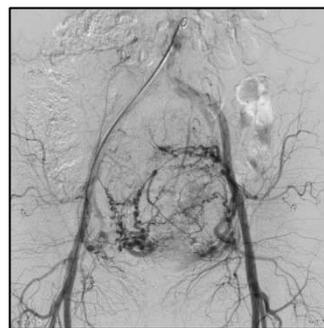
今後は、さらに症例の範囲の拡大を目指し、特に進行悪性腫瘍に対する緩和医療としての動注化学塞栓療法の導入を試みています。転移性肝癌、肺癌、膀胱癌などに対する有用性が期待されています。

設備としては、最新のIVRシステムを用いて、血管造影下のコーンビームCTを撮像することが可能です。これにより、適切な血管の選択および注入、適切な経路での穿刺を行うことができ、術の成功および安全に大きく寄与しています。

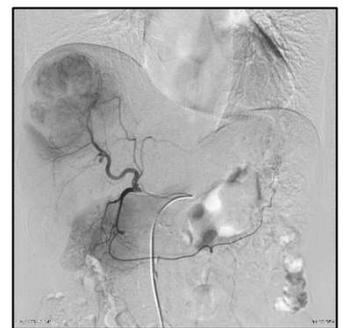
また、看護師、放射線技師ともに経験豊富なスタッフで構成されており、手技の成功に大きく役立っています。

IVRセンター設立に併せ、2014年11月より、IVRセンター外来を開設しました。毎週木曜日午後に予約を受け付けていますので、紹介状とともに直接当センターを受診して頂けます。診察の上、当科での処置を行う場合には、関係各科に依頼し、協力して治療を行うこととなります。御気軽にご相談にきて頂ければ幸いです。何卒、ご理解、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

IVRセンター長 杉原英治



DEB-TACE (HCC)



UAE (子宮筋腫)

## 【～地域の医療機関の皆様へ～基幹災害拠点病院からのお知らせ】

9月1日は1923年に発生した関東大震災を忘れることなく災害に備えるための防災の日です。

そのため9月は災害に関して知識を深め、備えを確認する時期でもあります。

大阪府内には19の災害拠点病院があり、当センターが唯一の基幹病院です。

当センターの障がい者医療・リハビリテーションセンター（災害拠点病院支援施設）



は、平時においてはリハビリセンターとして運用していますが、災害時には最大400名の傷病者が仮入院できる臨時病棟のスペースに変化します。

その災害拠点病院支援施設を利用した多数傷病者受け入れ訓練が毎年この時期に行われています。地域の医療機関のスタッフの皆様が医療ボランティアあるいは訓練の見学者として

毎年参加していただいております。今年は計112名の参加を頂きました。

急性期災害医療はDMAT（Disaster Medical Assistance Team）が有名です。DMATとは災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた、医師、看護師、事務職員の多職種で編成するチームです。当センターにもDMAT隊員が30名おります。今後は急性期のみならず亜急性期から慢性期の避難所を含めた地域の災害医療の必要性が高まっています。その時期には病診連携が欠かせません。亜急性期から慢性期でのよりよい災害時医療の病診連携の形を構築する必要がありますと考えております。当センターでは毎年度末に災害医療従事者研修や年2回（1月、9月）の災害訓練を行っております。地域の先生方との連携をとりながら来たるべき、南海トラフ巨大地震に備えたいと考えております。



何卒ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

高度救命救急センター（救急診療科）主任部長 藤見 聡

## 【～地域の医療機関の皆様へ～

### 経カテーテル的大動脈弁植え込み術（TAVI）の導入】

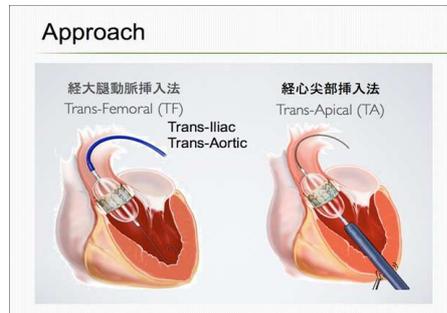
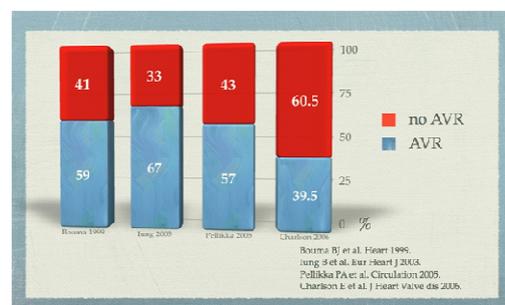
「人は血管とともに老いる」。19世紀末の内科医の言葉であります。21世紀に入った現在も血管病の脅威は衰えを知らず、血管だけにはとどまらず、動脈硬化からくる大動脈弁狭窄症（Aortic valve stenosis, AS）も、近年、増加傾向であります。

大動脈弁狭窄症に対する治療は、大動脈弁置換術が標準治療で、成績も良好であります。すべてのAS患者が治療を受けられているわけではありません。様々な合併症でハイリスクという理由であったり、高齢で体力的に自信が無く患者様自身が治療を拒否されたり、といった理由で、多くのAS患者が治療を受けていませんでした。

そんな中、2002年に世界初の経カテーテル的大動脈弁植え込み術（Transcatheter Aortic Valve Implantation, TAVI）が、フランスでCribier医師により施行されました。以降、圧倒的な低侵襲性で、ハイリスク患者群を対象とした治療法として確立されてきました。

本邦においては、2013年10月に、その手技が保険認可され、早期成績は、ハイリスク患者を対象としていながら、良好なものとなっております。新しい治療法であるため、遠隔期成績はまだ慎重な観察が必要であります。その低侵襲性から、これまで治療の機会が与えられなかった患者群でTAVIが施行されるようになってきております。TAVIは、新しい治療法であるため、安全に遂行するために関連学会協議会が定める厳格な施設基準、実施基準があります。また、周術期管理から手術手技まで良好なハートチームの構成が大きく結果に影響していると言われております。

当院では、経験豊富な心臓血管外科医、循環器内科医はもとより、心エコー医、麻酔科医、手術室・病棟看護師、臨床工学技師、放射線技師、CRC、理学療法士等でチームを構成し、総合的、多角的な視野で日々の診療にあたっており、大動脈疾患への低侵襲治療として、ステントグラフト治療を世界に先駆けて行ってきた歴史があり、また、施設基準も十分に満たしていることから、この度、TAVIの導入を行うことといたしました。平成26年10月から実施し、12月末現在で7例の患者に施行し



ております。

これまで治療を受けられず、なんとか内科的に維持されていた患者様にも、負担の少ない治療を提供することが可能となってくると見込まれますので、これまで以上に地域の先生方とは密に連携をとりながら、治療に当たっていきたくと考えておりますので、何卒ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

低侵襲性心血管治療センター長 白川幸俊

### 【「医療相談」コールセンターのご利用を —地域医療連携センター—】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

## 【診察予約変更センター 9 診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201(代表)にダイヤルして  
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科  
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科  
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

## 【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

### 今月の催し

#### 【第27回万代・夢寄席「新春太神楽」】

～お正月の決定版！幸せをもたらす太神楽、参上！～

日時 1月8日(木) 午後2時～3時  
場所 本館3階 講堂  
出演 豊来家玉之助  
参加費 無料



#### 【相愛大学連携 第44回外来糖尿病教室】

知って得する！ 糖尿病との付き合い方

日時 1月20日(火) 午後2時～  
場所 本館1階 アトリウム  
内容 糖尿病〇×クイズ あなたはどれだけ知っていますか

(糖尿病代謝内科医長 藤木典隆)

糖尿病の内服薬について (薬局薬剤師 津田武典)

アルコールについて (栄養管理室管理栄養士 笠井香織)

参加費 無料

### 【すこやかセミナー「一人で悩まない、子宮脱、尿漏れの治療」】

日 時 1月23日(金) 午前11時～12時

場 所 本館3階 講堂

講 師 産婦人科主任部長 竹村昌彦

参加費 無料

### 【第37回相愛大学連携コンサート「声楽」】

日 時 1月28日(水) 午後2時～

場 所 本館3階 講堂

出 演 [声楽] 沼田葉子

[ピアノ] 鎌田史子

入場料 無料



### 【第14回病院ギャラリー企画展

#### 須田剋太「街道をゆく」挿絵原画展 —大徳寺散歩— 】

『街道をゆく』は、司馬遼太郎氏が、1971年から1996年まで、25年以上にわたって週刊朝日に連載し、単行本にもなっている歴史紀行文学です。国内各地はもちろん、中国やモンゴル、さらには遠く南蛮(スペイン、ポルトガル)やオランダ、アイルランドをはじめ世界各地の街道も訪ね、司馬氏の洞察力に富んだ味わい深い文章により、その国や地域の歴史と風土を描いています。須田剋太は連載開始から1990年までの約20年間、司馬氏に同行してスケッチを重ね、「街道をゆく」の挿絵を制作しました。

それらの作品は、挿絵として各地の雰囲気や情景を伝え読者を楽ませるだけでなく、独特の画風で色彩豊かに描かれ、絵画作品としても優れたものとなっています。[大阪府立江之子島文化芸術創造センターホームページ内の解説文より抜粋]

今回は第13回に引き続き、須田剋太が描いた「街道をゆく」シリーズの中から『大徳寺散歩』を紹介させていただきます。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施します。)

開催期間 2014年11月10日(月)～2015年2月13日(金)まで

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 大徳寺散歩 28枚

**【(予告) すこやかセミナー「体にやさしい手術（腹腔鏡手術）」】**

日 時 2月12日(木) 午後2時～3時  
場 所 本館3階 講堂  
講 師 消化器外科医長 團野克樹  
参加費 無料

**【(予告) 相愛大学連携 第45回外来糖尿病教室**

**知って得する！ 糖尿病との付き合い方】**

日 時 2月18日(水) 午後2時～  
場 所 本館1階 アトリウム  
内 容 新しい血糖測定のカタチ～血糖持続モニターCGM ってなに～  
(糖尿病代謝内科医員 藤田洋平)  
神経伝達速度検査って何？(臨床検査科臨床検査技師 藤田 武)  
そのダイエットは正しいの？(相愛大学准教授 竹山育子)  
参加費 無料

**【(予告) 第28回万代・夢寄席「桂春団治一門会」】**

日 時 2月19日(木) 午後2時～3時  
場 所 本館3階 講堂  
出 演 桂 蝶六、桂 咲之輔  
参加費 無料

**【(予告) すこやかセミナー「入院中に、動けなくなる？動かなくなる？**

**—入院中の寝たきりを防ぐ—】**

日 時 2月27日(金) 午前11時～12時  
場 所 本館3階 講堂  
講 師 リハビリテーション科理学療法士 大谷直寛  
参加費 無料




**【 管理栄養士のコーナー 】 ~ちょっとおいしい話~**

冬の柑橘類の王道といえば、みかんですが、レモンも、今の寒い時期が旬です。風邪の予防のビタミンCもたくさん入っていて、コラーゲンと一緒に食べると美容効果にもなります。レモンは輸入品もありますが、最近は国産品も見かけます。今回は「かぶと鶏肉のレモンクリーム煮」をご紹介します。かぶも、冬の野菜ですので、旬のものを食べて寒さを乗り切りましょう。

《材料》	(1人分)	(2人分)
鶏肉	80 g	160 g
A { レモン汁	大さじ 1/4 杯	大さじ 1/2 杯
{ 塩	ひとつまみ	小さじ 1/6 杯
小麦粉	適量	大さじ 1 杯
かぶ (小さいもの)	2 個	4 個
マッシュルーム	1 個	2 個
玉ねぎ	1/4 個	1/2 個
オリーブオイル	大さじ 1/4 杯	大さじ 1/2 杯
白ワイン	大さじ 1 杯	大さじ 2 杯
レモン汁	大さじ 1/4 杯	大さじ 1/2 杯
生クリーム	大さじ 2 杯	大さじ 4 杯
かぶの茎	適量	適量

(1人前) エネルギー量：304kcal たんぱく質：14.3g 脂質：23.3g 塩分相当量：0.6g

- ① 鶏肉は食べやすい大きさに切り、下味のAをもみ込んでおく。
- ② かぶは茎を切り落とし、皮をむく。小さいものなら、縦半分に、少し大きいものは4つに切る。
- ③ マッシュルームは固いところを切り落とし、縦半分に切る。
- ④ 玉ねぎは幅1cmくらいのくし形に切る。
- ⑤ 下味をつけた鶏肉の水気を軽くふきとり、小麦粉をまぶす。温めたフライパンにオリーブオイルを入れ、鶏肉を焼く。
- ⑥ 鶏肉に焼き目がついたらフライパンの油をおおまかに取り、白ワイン、レモン汁を入れて、少し煮詰める。これに、水1カップ(200ml)、かぶ、マッシュルーム、玉ねぎを入れる。中火にして蓋をして、煮立ったら弱火で25~30分煮る。
- ⑦ 野菜がしんなりしたら、生クリームを入れて、味をみて塩少々を加えて味を整える。
- ⑧ かぶの茎を入れて、蓋をして1~2分したら、火を止める。

マッシュルームの代わりに生しいたけでもできますが、火を通しすぎないようにか

ぶの茎を入れる少し前に入れてください。また、生クリーム代わりに牛乳でも作れますが、バターを入れると、コクが出ます。

栄養管理室 管理栄養士 伊藤 晶

### 今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

### 【(新) 電話交換 山中さんの巻】

私の担当している電話交換は患者様やそのご家族からのお問い合わせ内容をお聞きして該当部署に電話をお繋ぎしたり、取引会社や営業の電話の取り次ぎを行ったり、院内から依頼された電話を外線に発信するなどの業務を中心に行っています。

電話は病院にとって欠くことのできないサービス提供の大切な部門の一つだと思います。なぜなら、電話対応の仕方によって病院のイメージが決まってしまうからです。

電話では患者様から私たちの姿が見えないため、声のトーンや言葉遣い、話し方などで印象が変わってしまうことがあります。そのことを念頭に置いて、できるだけ明るく丁寧な話し方をしよう心がけています。

また電話の取り次ぎ業務には、速さと正確さが必要です。より多くの情報を収集し、少しでも電話対応に役立てて行けるようにしたいです。

これからも電話交換が急性期・総合医療センターの重要な窓口であることを忘れず、正確に電話をお繋ぎできるよう、より一層の経験を積んでいきたいと思っております。

### その他のお知らせ

### 【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」が出版中です！】

府民の皆さま向けに、当センターで行われている最新治療をご紹介する書籍を出版しました。当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるように執筆しています。

この本は、いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民がよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選択するための案内書としてご活用いただければ幸いです。



価 格：1,998 円（消費税 8%込）

◇当センター内のローソンや近隣の一般書店等で販売します。

◇当センター内のローソンでは、下記の方を対象に割引販売を実施します。

- ・当センターの診察券をレジで提示いただいた方
- ・当センターで開催されるイベント参加者にお配りする書籍の案内リーフ（割引券付き）をレジで提示いただいた方

割引価格：1,700 円（消費税 8%込）

### 【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターの公式 Facebook ページを開設しました。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右のQRコードをご利用ください。



### 【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関は J-Debit に加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。（ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。また、デビット機能が付与されていないカードもありますので、ご注意ください。）

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

### 【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。